

「環境と文化の都市・飯田のまちづくり、地域の歴史と伝統芸能」

担当教員名 石神隆、根崎光男

コース概要

日程	2016年8月5日～8日
場所	長野県飯田市ほか
参加人数	48名

コースのねらい

一つの地域を深く知ることは、広く日本や世界を知ることに通じます。わが国の典型的な地方都市である飯田市に出かけ、歴史、文化、生活、環境、そして行政など、多面的な地域理解への体験をしていきます。この体験学習によって、地域というものへの見方が変わり、また地域への興味や関心が高まり、日本や世界における地域の魅力を積極的に探す自分になっていくことを発見することでしょう。

内容

旧城下町の飯田市は、人口約10万人の典型的な地方都市で、人形劇とリンゴ並木を愛し、エコツーリズムを推進する南信州の環境文化都市として有名です。このフィールドスタディでは、人形劇フェスティバルの期間にあわせ、まちの主要な行事に参加することにより、また、環境重視のまちづくりをめざす飯田市の行政や市民活動を多方面から学習することにより、新しい地域のあり方を考えていきます。さらに、市域にある山間部の伝統的な習俗や生活環境を体験、加えて隣接広域圏にある伝統的な町並み保存地区の妻籠（つまご）・馬籠（まごめ）などを訪れたりし、地域の文化や生活、歴史、そして、現在のまちおこしを体感的に学習していきます。

飯田人形劇フェスタ、飯田りんごんへの参加

飯田は世界でも有数の人形劇の町です。毎夏のフェスタには日本各地や世界から300もの劇団が飯田にやってきます。まち全体が劇場と化す珍しいフェスタです。フェスタでは劇人だけでなく、手伝いの市民や見物の私たちが主役です。夜は、市民総出の形で「りんごん」踊りが始まります。私たちは、揃いの衣装を着てそれに参加します。全国の他大学からの学生と一緒に連を組み、市街地を踊り歩きます。一市民になりきってのこのような形の参加により、飯田のまちを逆に内側からよく理解することが可能になります。

伝統的な場での伝統的人形劇の鑑賞

飯田の各地には、江戸時代から伝わる人形浄瑠璃が伝承されています。公演の場は地域の神社境内など伝統的に行われてきた味わいのある場所です。近年は海外からの注目も高く、ここ数年、10名前後の米国大学生グループがワークショップで飯田に滞在し、地元の方たちから人形浄瑠璃を学んでいます。地域伝統の本格的な公演に加え、彼らの発



伝統的人形劇の鑑賞。米国ミズーリ大学生による人形浄瑠璃。

表もそこでの楽しみの一つです。私たちはこのような姿を間近に観ることによって、日本の地域に残る伝統の魅力や文化の世界性をあらためて考えさせられます。

市長から直接教わる地域行政の学習

飯田市は、日本で最初の再生可能エネルギー導入の条例化や、地域環境権の提案など、先駆的な行政を進めていることでも有名です。私たちは、一緒に集った他大学の学生とともに、行政トップである市長から直接に話を聞き、また対話します。大都市に住んでいると役所や首長は遠い存在に見えることが多いのですが、このように市長と顔を合わせて話をすると地域行政がとても身近に感じられ、自分の住む自治体への関心もまたあらためて湧いてきます。

山間部の生活や歴史の体験

このフィールドスタディでは、飯田市内中心部だけでなく市内山間部を訪れ、地域で食文化体験や、山間部のまち歩き、旧小学校の見学などをします。いのしし肉など地元の食材や、そばうち体験などから、間接的に地域の森林や農業等について身を持って学ぶこともできます。少し足を伸ばし、伝統的建造物群保存地区として有名な妻籠や馬籠の街を歩き、広域にわたる伊那谷や木曾谷の歴史にも思いをめぐらせました。

学習を終えて

「本当に飯田の人々は『結いの精神』をもとに、地域の人々との関わりを大切にしているのだなと感じています。飯田フィールドスタディに参加したことで、自分自身の中で地元に対する感情が変化し、それと同時に地元に対し、愛情を持ちたいと感じることができました」 2年 大野木萌夏

「このフィールドスタディを通じて、実際に行かなければ体験できないお祭りの一体感や地域の人々の温かさを感じることができ、あらためて地域の魅力を知ることができました。また、今後は、自分の出身地で行われているまちづくりについて調べ、飯田市のまちづくりの取り組みについて考え、地域の魅力を発見していきたいと思います」 2年 大木容子

「人形劇フェスティバルや、人形浄瑠璃、そば打ちなど実にさまざまな体験をすることができました。人形浄瑠璃では、日本人である私もあまりよく理解していない日本の伝統芸能を、外国の方が演じているのがとても印象に残ったのと同時に、日本が世界に誇る文化の素晴らしさを再認識することができました。また、市長の話からは、地域の資源と人材を掛け合わせた『地育力』への取り組みについて学ぶことができ、地域振興の一つの有効な手段であると感じ、とても勉強になりました」 3年 遠藤駿



「りんごん踊り」参加。黄色の法被姿は法政大学生の連。



牧野光朗・飯田市長の講義を聴く。「共創の場」飯田の説明。